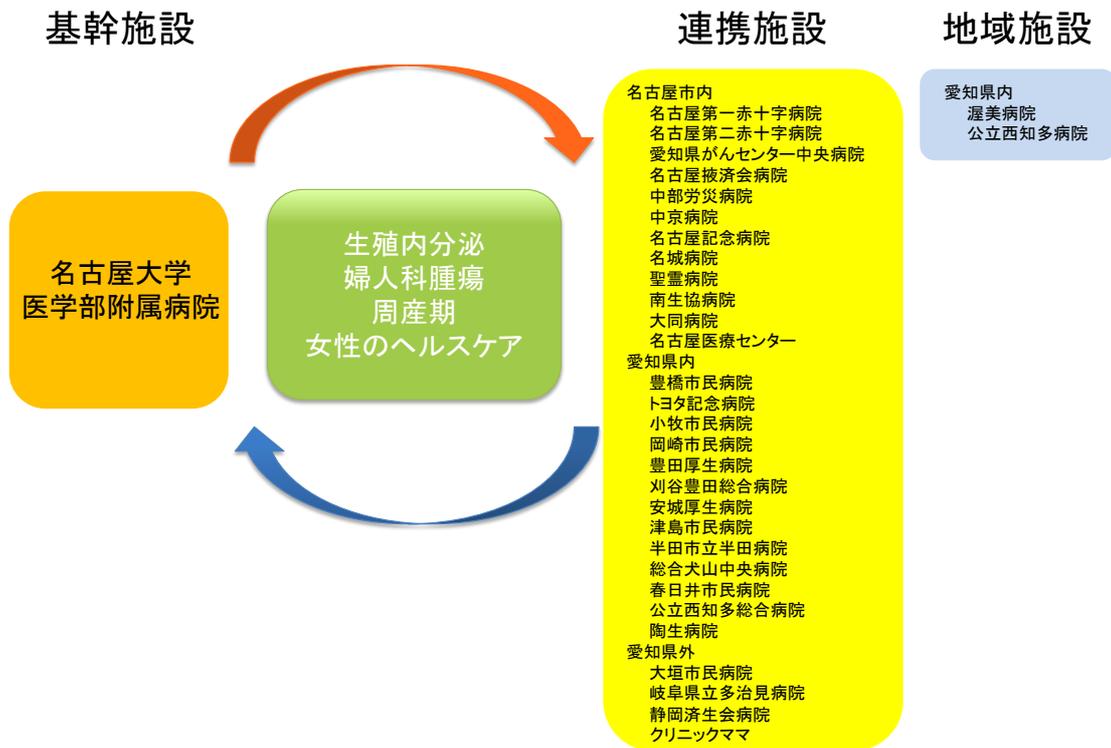


## 資料 2. 名古屋大学産婦人科専門研修プログラム

### A. 名古屋大学産婦人科研修プログラムの概要

### 名古屋大学産婦人科研修施設群

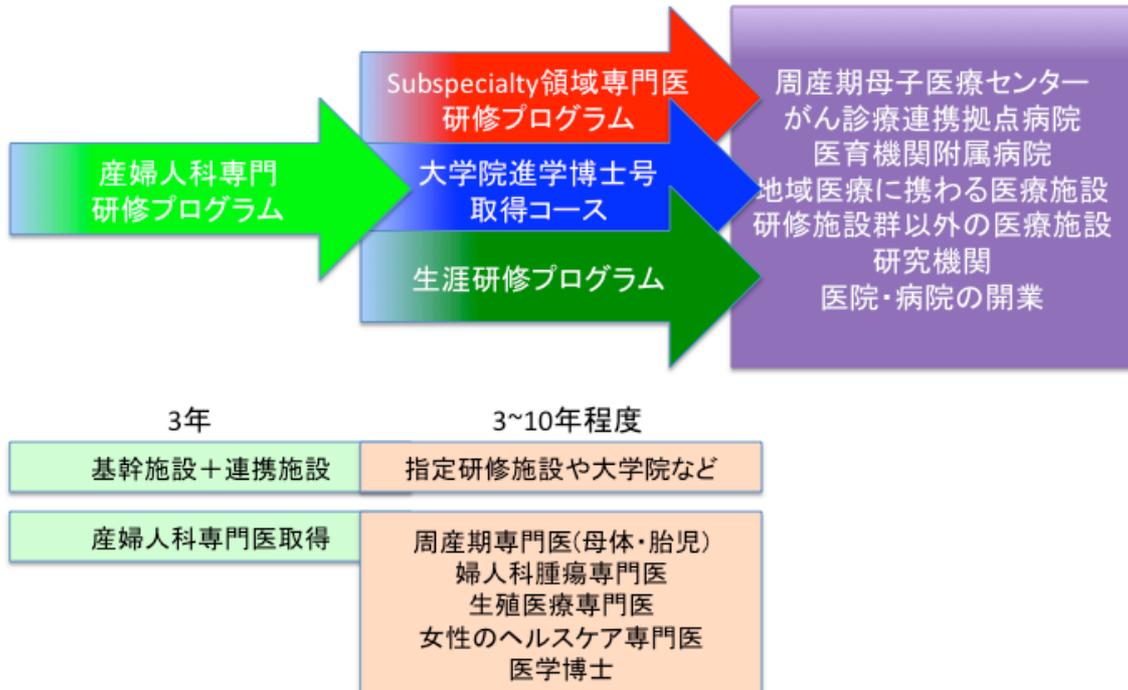


名古屋大学産婦人科専門研修プログラムでは名古屋大学医学部附属病院産科婦人科を基幹施設とし、連携施設、地域施設とともに研修施設群を形成して専攻医の指導にあたる。これは、地域医療を経験してその特性の習熟を目的とし、高度かつ安定した地域医療の提供に何が必要かを勘案する能力がある専門医の育成に寄与するものである。また、大学病院では経験する機会が少ない性病、性器脱、避妊指導、モーニングアフターピルの処方と服薬指導などの習熟のためにも必要である。指導医の一部も施設を移り施設群全体での医療レベルの向上と均一化を図ることで専攻医に対する高度に均一化された専攻医研修システムの提供を可能とする。連携施設にはそれぞれが得意とする診療内容があり、基幹施設を中心として連携施設をローテートすることで、周産期医療、生殖医療、婦人科腫瘍、女性のヘルスケアの4領域を網羅的かつバランスよく研修することが可能となる。

産婦人科専攻医の研修の順序や期間等については、個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各施設の状況、地域の医療体制を勘案して、名古屋大学産婦人科専門研修プログラム管理委員会が決定する。

## B. 名古屋大学専門研修プログラムの具体例

### 専門医制度研修プログラムとその後のSubspecialty研修などと将来像の概要



名古屋大学産婦人科研修プログラムでは、専攻医は3年間で修了要件を満たし、ほとんどが専門医資格を保有するに値する技能を修得したと認定されるものと見込まれる。修了要件を満たしても技能の修得が足りない場合や、病気や出産・育児、留学などのため3年間で研修を修了できなかった場合は、1年単位で研修期間を延長し、最終的に専門医を称するに足る産婦人科医として、修了年の翌年度に産婦人科専門医試験を受験する。専門医を取得して産婦人科研修プログラムの修了と認定する。この4年目は産婦人科専門医取得とその後のサブスペシャリティ研修開始の重要な時期である。

研修は基幹施設である名古屋大学医学部附属病院産科婦人科ならびに愛知県内もしくは岐阜県、静岡県との連携施設にて行う。大学においては、婦人科悪性腫瘍および合併症妊娠や胎児異常、産科救急、高度生殖補助医療などを中心に研修する。大学での研修の長所は、一般市中病院では経験しにくいこれらの疾患を多数経験ができることである。3年間の研修期間のうち6ヶ月以上は基幹施設で最重症度の患者への最新の標準治療を体験する。

一方、大学以外の関連病院においては、一般婦人科疾患、正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理を中心に研修する。外来診療および入院診療は治療方針の立案、実際の治療、退院まで、指導医の助言を得ながら自ら主体的に行う研修となる。生殖医療については体外受精などの不妊治療を名古屋大学医学部附属病院もしくは連携施設で研修する。

専攻医勤務例

	月	火	水	木	金	土日
	抄読会					抄読会
午前	初診外来	婦人科 悪性腫瘍手術	連携施設での 外来/手術など	婦人科病棟当番	一般外来	
午後					病棟総回診 症例検討会	
				放射線科 合同検討会 <sup>※1</sup>		

	月	火	水	木	金	土日
	抄読会					抄読会
午前	採卵/ 体外受精	内視鏡手術	連携施設での 外来/手術など	不妊症外来	採卵/体外受精	
午後		内視鏡手術		内視鏡手術	病棟総回診 症例検討会	
					不妊症例 検討会	

	月	火	水	木	金	土日
	抄読会					抄読会
午前	産科病棟当番	連携施設での 外来/手術など	産科病棟当番	MFICU 当番	初診外来	
午後	妊婦検診		帝王切開		病棟総回診 症例検討会	
				ハイリスク妊娠 症例検討会	新生児科合同 症例検討会	

各班共通

\*1 隔週

\*2 1回/月程度

\*3 経陰分娩には原則立ち会う

C. サブスペシャリティ専門医の取得に向けたプログラムの構築

名古屋大学産婦人科専門研修プログラムは、専門医取得後に以下の専門医・認定医取得へつながるようなものとする。

- ・日本周産期・新生児医学会 周産期(母体・胎児)専門医
- ・日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- ・日本生殖医学会 生殖医療専門医
- ・日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- ・日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医

専門医取得後には、「サブスペシャリティ専門医養成プログラム」として、産婦人科 4 領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動の選択肢も提示される。

D. 初期臨床研修プログラム

名古屋大学産婦人科専門研修プログラム管理委員会は、卒後臨床研修・キャリア形成支援センターと協力し、大学卒業後 2 年以内の初期研修医の希望に応じて、将来産婦人科を目指すための初期研修プログラム作成にも関与する。